

小生が入会したきっかけは開発設計・営業の会社人間から断捨離し、社会人へ 180 度転換すべく種々の社会貢献活動への参加を模索していたからです。

その契機に最初に入会したのは（鎌倉）ハイキングクリーン HC（現在、小生が代表）でした。天園ハイキングコースの散策中に天園大崖下の階段を補修中の HC 整備グループの 2 人に声を掛けたのが切っ掛けとなり HC に入会。代表の亀井さんから、湘現会は歩こう会もあるよ！と推奨されました。同時期に鎌倉風致保存会にも入会し現在は会員幹事を仰せつかっております。

湘現会は他団体と異なり多岐に亘る分科会が魅力で 2011 年 8 月に歩こう会、鍋の会へのお試し参加の機会を得ました。そこで井森、小林、堀河、出口さん他と知合い、小林光男さんから早速、年賀はがきを貰い、その暖かさに触れ入会しました。種々の分科会に誘われる内に井森前会長から**会計係**の担当要請があり、会計は素人乍ら 2012 年 8 月に小西さんから引継ぎました。早速、20 周年記念行事が変じて、“皆が喜ぶ講演会&入会お誘い PR”を目的に養老孟司先生と横井ドクター夫妻のご協力で・特別講演会「笑いの力で健康的に生きよう！」開催の話になり、収支の成立が危ぶまれる中で実行委員会を世話人 8 名で発足し、参加者お誘い大作戦、湘現会 PR パンフレット作り等に明け暮れました。2013 年 5 月 19 日には会員外 110 名を含め 160 名が集まり、講演会も望外に好評、収支も幾らか余剰を出せたのは講師の方々に桑原現代表を通じてご協力戴けたことと、堀河現副代表の綿密な企画力の賜物で会計兼事務局補佐としてホットしました。なお講演会の様子は雑誌「わたしのここから」の要請で投稿致しました。今流行の“未病”の根底である“笑い”を先取りした感じでした。

その後、矢継ぎ早に 2014 年に 20 周年記念行事が小林委員長の下、会員が主役で盛大に無事開催され、同様に成功を収めました。

その後も運営に関する諸々の軋轢、会員の増減等も世間並みにありましたが、**共助・一致協力**の力は大きい事を改めて学びつつ運営に参画しております。

なお会計業務に関しては業務手順書の作成、会計ソフトの改善と共に、青野さんと支出抑制策を講じた結果、年会費も低減できました。幸い会計は熟練の飯田さんに 2016 年 1 月から引受けて戴きました。同時に小生としては社協への登録を実現し、それをベースにした例会会場の年間一括確保、「鎌倉福祉まつり」への参画、各種団体にも多々参画しているメリットを生かし他団体との連携などの対外協力にも配慮し、今後とも当会の円滑な運営・発展及び社会貢献に注力して行きたいと存じます。

当会のように講演会を例会として定期開催しながら、多岐に亘る分科会を地道に継続するもの、新規に発足するもの等が混在し、恰も人間としての盛衰を実感させる会は珍しいと感じております。

以上